

東京知道会平成 24 年第 5 回幹事会議事録

1. 日時 平成 24 年 12 月 15 日（土） 14:30 - 16:00

2. 場所 サンケイプラザ会議室

3. 議題

- (1) 平成 25 年度総会「同窓の集い」担当学年(59 年卒)からの報告
- (2) 平成 24 年度人事選考委員会からの推挙報告
- (3) 各委員会（企画、組織、財務、会報）からの報告
- (4) その他

4. 参加者 15 名

5. 議事内容

(1) 平成 25 年度総会「同窓の集い」担当学年(59 年卒)からの報告

基本コンセプトは「つなぐ、つなげる、つながる」。9 月の学年同窓会（48 名参加）以降、10 月に女子会開催、8 名参加。11 月には水戸同窓の集いに参加した。試みに web で学年幹事会を行った。メールによる話し合いは負荷軽減になるのではないかと。会費は S59 年以降 5000 円、学生 2000 円にするなど若い世代が参加しやすくする。また、クロークの位置を変えるなどして動線の改善を検討中。講演内容は参加者の関心事項を念頭に検討する。

(2) 各委員会からの報告

①企画委員会

秋の歩く会は 10 月 27 日、小石川後樂園ガイドツアーを 45 名の参加で実施、無事終了。来年度の行事は①3 月 30 日（土）を候補日に花見の会。2014 年度以降はスカイツリーの混雑を考慮し場所を検討する②8 月 4 日（土）に夏休みの企画。内容は今後検討③歩く会は 10 月 26 日（土）筑波山で。入浴・食事会（江戸屋）を下山後に想定。女子グルメの会は企画委員会主催とする。筑波山歩く会、女子グルメの会などの機会を利用して引き続き水戸知道会との交流を進める。夏休み企画、歩く会、茨城関連行事は必要に応じて東京知道会、県人会の補助を申請する。

②組織委員会

平成卒の会参加などで若手会員の取り込みに向けて努めている。今回の忘年会も、平成卒と合同行う。同窓の集いや会の運営への参加につなげたい。女性が気軽に入れる同窓会をめざし、女性会員の拡大を図りたい。フェイスブックの情報交換ページの登録者は 377 人で引き続き取り組んでいく。名簿は、発刊された知道会名簿を反映させ、更新作業を進めたい。

③財務委員会

12 月 9 日現在、2012 年度会費収入額は 2,691 千円（内訳は今年度入金 2,190、前受金 501

千円)で、寄付金 502 千円を加えると 3,193 千円となり前年を 1,117 千円、10 月報告時に比べ 62 千円上回っている。会費納入者は前年比 205 人増の 897 人。特に今年度入金は+274 人(60%増)の 730 人。今年度は会費と寄付金合計で 2005 年以來の 300 万円超を達成した。住所・氏名入りの郵便為替用紙の送付が予想以上の効果があったためとみられる。10 万円以上の大口 2 件を含め多額の寄付を頂いた。今後は寄付金に頼らなくても済む安定的財政基盤を広げるため、会員数の拡大を図りたい。来年は 250~300 万円程度の会費収入を見込みたい。

④会報委員会

第 74 号は 1 月 18 日ころ発送の予定。原稿はほぼ出揃った。「同窓の集い」の案内、寄付金協力者のお名前・お礼、特別インタビューのエニグモ代表取締役須田将啓氏(H5 卒) =取材済み、茨城マルシェの堀江英夫氏等の入稿待ちである。

(3) 平成 24 年度人事選考委員会について

人事選考委員会の審議の結果下記の方々の推挙が決定。

会長 助川 裕(昭和 42 年卒)留任
副会長 海老根 宏(昭和 36 年卒)新任
副会長 佐渡本真理子(昭和 41 年卒)留任
副会長 植村 滋(昭和 43 年卒)新任
監事 羽持 良三(昭和 37 年卒)留任
監事 石川 隆之(昭和 42 年卒)新任
幹事長 谷田海 孝男(昭和 46 年卒)留任

(4) その他

①寄付の取り扱いについて

通常の寄付金は一般会計に組み込み、寄付者の意向に応えるべく若手の士気高揚など会運営に有効に活用する。詳しくは関係委員会・監事で検討する。

次回幹事会は 2 月 6 日(水)、アットビジネスセンター東京駅八重洲通り会議室で午後 6 時半から開催。

以上